

## 急変時対応多職種研修会 アンケート集計結果報告書



**在宅ゆい丸センター**

一般社団法人 中部地区医師会  
在宅医療・介護連携推進事業

日 時：令和6年3月14日（木）19：00～21：00

開催方法：会場（NBC 結婚式場） + オンライン（Zoom）開催

テ ー マ：「事例を通して考える 段階に応じた ACP と多職種連携  
～その人が、その人らしく、いられるために～」

周知方法：開催案内文書の郵送、当センターHP 掲載、メーリングリスト一斉送信、FAX 送信

周知範囲：中部地区12市町村の医療介護関係施設（約1700か所）、他

### ●参加者数

**会場** 参加人数：83名 アンケート回答数：67名（会場回答率：約81%）

**Zoom** 参加アカウント数：65アカウント

アンケート回答数：40アカウント（Zoom回答率：約62%）

65-40=25（25アカウントはアンケート未回答により人数把握ができないため、視聴  
人数を1名とする。）

アンケートに回答した40アカウントの視聴人数：計44名 ※下記参照

Zoomトータル視聴人数：25名+44名=69名

**合計** 参加人数：83名（会場）+69名（Zoom）=152名

トータル参加人数 152名

アンケート回答率：70%

### ●Zoom：1台の機器で視聴した人数の割合（n=40）

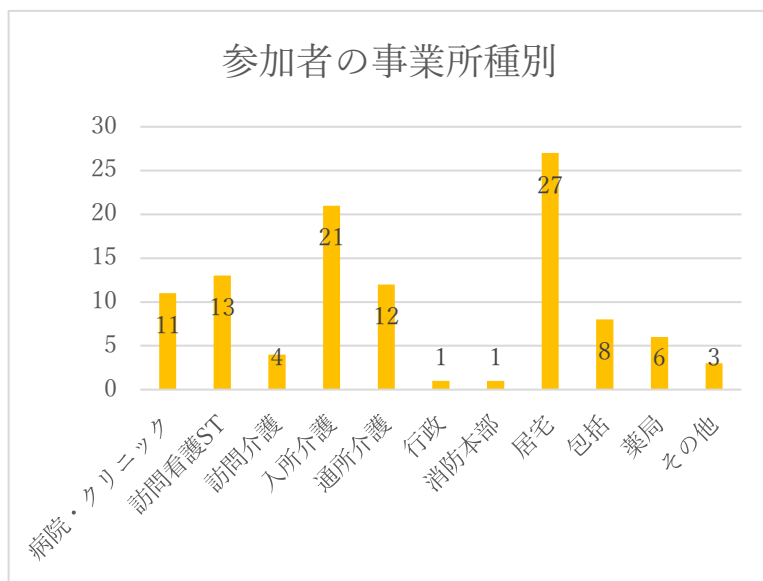
	数	割合
1人で視聴	38	91.7%
3人	2	8.3%
計	40	100%

1人×38アカ = 38人  
3人×2アカ = 6人  
+ 40アカ 44人

※以降のアンケート集計は、会場・Zoom回収分を合計し集計（n=107）

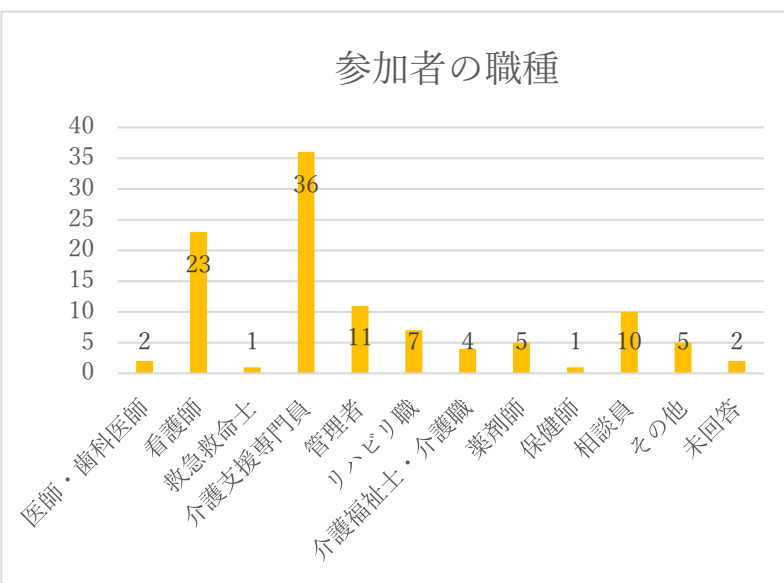
●参加者の事業所種別 (n=107)

	数	割合
病院・クリニック	11	10.3%
訪問看護 ST	13	12.1%
訪問介護	4	3.7%
入所介護	21	19.6%
通所介護	12	11.2%
行政	1	0.9%
消防本部	1	0.9%
居宅	27	25.2%
包括	8	7.5%
薬局	6	5.6%
その他	3	2.8%
計	107	100.0%



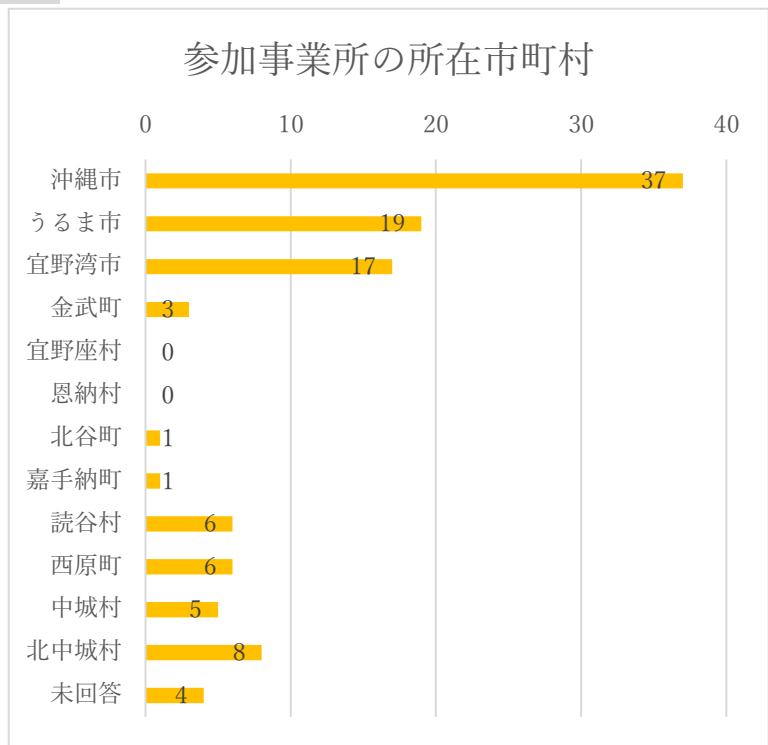
●参加者の職種 (n=107)

	数	割合
医師・歯科医師	2	1.9%
看護師	23	21.5%
救急救命士	1	0.9%
介護支援専門員	36	33.6%
管理者	11	10.3%
リハビリ職	7	6.5%
介護職	4	3.7%
薬剤師	5	4.7%
保健師	1	0.9%
相談員	10	9.3%
その他	5	4.7%
未回答	2	1.9%
計	107	100.0%



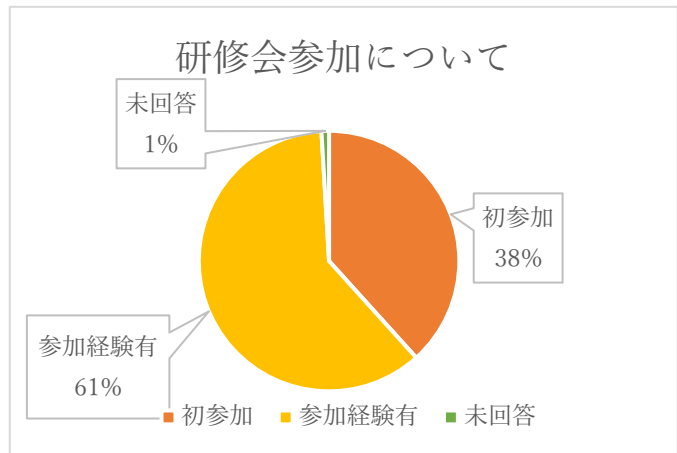
●参加事業所の所在市町村 (n=107)

	数	割合
沖縄市	37	34.6%
うるま市	19	17.8%
宜野湾市	17	15.9%
金武町	3	2.8%
宜野座村	0	0%
恩納村	0	0%
北谷町	1	0.9%
嘉手納町	1	0.9%
読谷村	6	5.6%
西原町	6	5.6%
中城村	5	4.7%
北中城村	8	7.5%
未回答	4	3.7%
計	107	100.0%



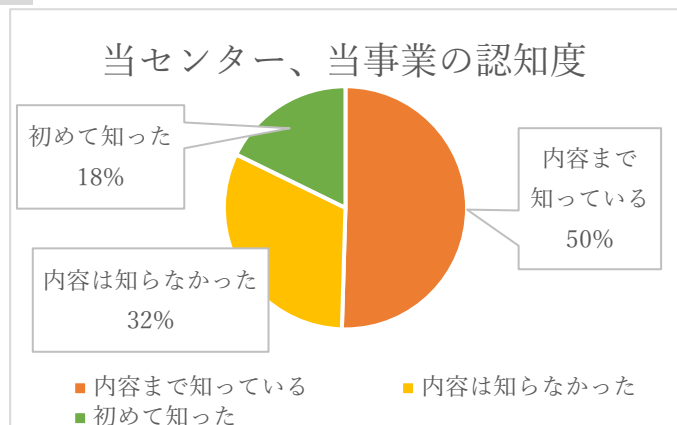
●研修会への参加について (n=107)

	数	割合
初めて参加した	41	38.3%
参加したことがある	65	60.7%
未回答	1	0.9%
計	107	100.0%



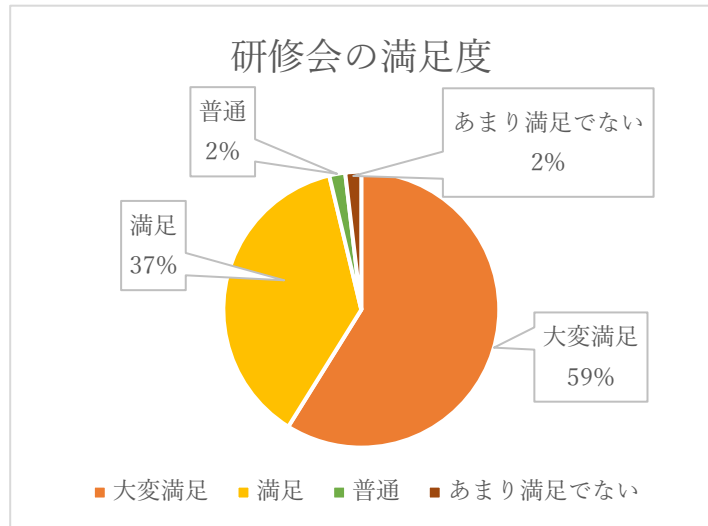
●当センター、当事業の認知度 (n=107)

	数	割合
内容まで知っている	54	50.5%
内容は知らなかった	34	31.8%
参加して知った	19	17.8%
計	107	100.0%



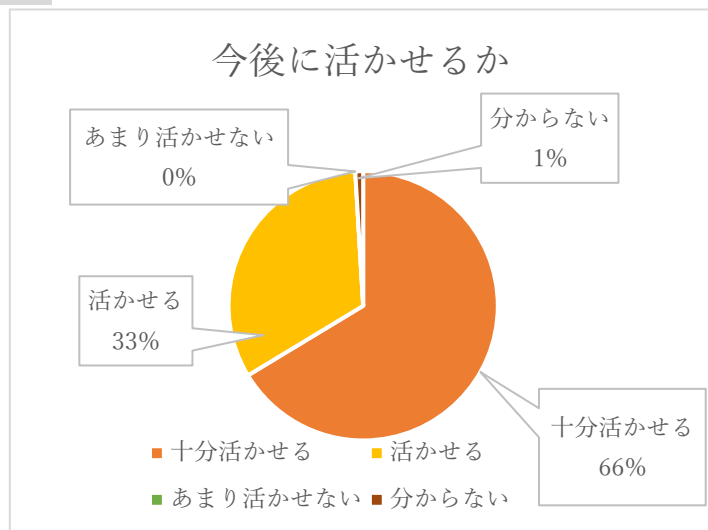
●研修会の満足度 (n=107)

	数	割合
大変満足	63	58.9%
満足	40	37.4%
普通	2	1.9%
あまり満足でない	2	1.9%
計	107	100.0%



●今後の業務に活かせるか (n=107)

	数	割合
十分活かせる	71	66.4%
活かせる	35	32.7%
あまり活かさない	0	0%
分からない	1	0.9%
計	85	100.0%



●記述式アンケート結果

【当研修会の感想】

1	いつも、急変時の場面にあった時、家族にどう対応したら良いとまどう時が多々ありました。その時、本人さんが元気な時に言っていた言葉を一緒に思い出しながら伝えたりするという事はとても勉強になりました。
2	多職種の意見を聞くことがとても良かったです
3	事例を通して、ACPを家族・本人の意志をどう確認していくか学ぶことができた。登壇者の方の内容を聞いて、自分の考えや新しい知識を得ることができた。
4	大変勉強になりました
5	医療機関・消防・在宅CL・福祉施設等のそれぞれの立場から対応等が変わってくる為、日頃から利用者様やご家族、関わる方から話を聞き意向を確認していく必要がある。その為には、信頼関係の構築が必要だと思う。
6	それぞれのステージで活躍する多職種と意見交換できるのは貴重です。またお願いします。

7	記録をとる。職種を超えた情報共有の為の工夫として。グーグルチャットを訪看の方に教えてもらいました。今後生かしていこうと思っています。
8	大変勉強になりました。もう少し時間がほしいです。ありがとうございました。
9	とても良い研修会でした。ACP が本人の最後にむけて、少しずつ確認していこうと思います。家族の意向のまとめも、まきこみもとても重要と思いました。
10	様々な視点から ACP であったり、急変時の対応について、話が聞けて参考になった
11	色々な意見が聴けて良かった。両親と家族の中で話しをしたい。
12	早口すぎてついていけないことがあった…
13	ACP、救急の連携について、考え・学ぶ機会になりました。ありがとうございました。
14	様々な事業所の方の話を聞くことで、これまで思っていた疑問、「何で急変からこんなに時間がたって 119 番したんだろう?」「もっと早く呼べば良かったのに」という考えに対し、本人や家族の意向に添うために段取りをふんだ結果であることが知れて良かった。
15	いろんなケースが聞けて良かった (グループワークにて) もっと余裕がほしかった
16	とても大切な事、ACP は、その場、現場の判断、重要だと思う。進行がスムーズで良かった。
17	とても満足しました。元気な時にご家族と多職種での密な情報共有必要。
18	薬局では、出会うことのない事例を知ることとても良かった
19	多職種の意見が聞くことが出来、救急隊について知ることが出来てよかった
20	すごく勉強になった。ACP のタイミングは 1 つじゃないこと、そして変わりゆくことがあることを理解して、そこに気づいてアクションできるようになりたい。
21	グループワークする事で多職種からの意見が聞けて、いい勉強が出来ました。日頃から利用者のみならずご家族、関係者とのコミュニケーションの大切さ、利用者の意見に寄り添う事の大切さを学びました。
22	多職種での視点での話し合いが出来、とても良い内容となった。
23	様々な職種の方々と 1 つのテーマ、色んな角度の考えを知れて良かった。
24	消防長の話が分かりやすかった。
25	ACP を行う意味が理解できれば、本人の望む最期を叶えることができると感じた、支援者、救急救命士の心マ中止による悩み、ストレス等も軽減できると思う。
26	いろんな視点で利用者に関わる方法や、その考え方を教えてもらえました。すごく参考になりました。
27	ACP について多くの医療・福祉職員へ伝わるといいと思います。まだ知らない人が多いです。「多職種連携」できるようになるといいと思いました
28	ACP のことなど、専門職の方々からの話が聞けて勉強になりました。
29	急性期、救急対応の基本的な役割が、なぜ沖縄は ACP、プルトルが行き渡らないのか、知れて良かった。(施設勤務では分からない現状だったので) 現状をもっと知りたかった。
30	とてもリアルな話が聞けと思います。
31	他の事業所での ACP への取組みを知れて、とても勉強になった。また自施設でも取り入れたいと思った。

32	救急医、救急隊の視点、考え方を理解し、その上での連携を意識できた。患者様、利用者様、家族を意しきし、在宅医始め、医、介の連携を今後も大切にしたい。
33	地域医療における課題について他職種で意見交換する場は不可欠、目の前の看病、利用者が最期を迎えた時に「たれば」にならないよう伺え合っていく必要があると感じた。
34	初めての参加でしたが良い勉強になりました。次回もぜひ参加したいと思います。
35	グループワーク後の講話は、勉強になりました。
36	職種なりの大変さを聞く事が出来情報共有連携が大切な事を知り、今後へ活かせたらと思います
37	救急医や消防隊の方の意見が聞いて良かったです。
38	初めて参加させていただきました。色々勉強になり、グループの方々の話も勉強になり、又、参加したいです。
39	本人の記録と家族との情報共有が重要であると感じました。
40	DNAR や初めて知る言葉もあり、とても勉強になった。
41	初回の参加の為、流れに添うのに必死でした。次回も是非、参加し意見を発言できる様頑張ります。
42	自分の親に話してみたいと思いました。
43	様々な職種の視点から ACP についての意見を知る事ができ貴重な機会でした。日々他職種や家族と話し合いを用いて、その時の本人に合わせた終わり方を援助していければ…と感じた。
44	様々な視点から ACP についての想いをきくことができ、有意義な研修会でした。
45	今回初めての参加になりますが、とても意味のある勉強会でした。職場に持ち帰り話したいと思います。
46	とても良い多職種の研修でした。当事者、役職、皆さまさまざまなので、良いアドバイスや学びがあった！
47	救急医の立場、消防、在宅医、施設、それぞれの立場からの現状、課題を拝聴する事ができてとても良かったです。
48	今回はファシリテーターとしての参加でしたが、医師、施設看護師、訪問介護の職種にて ACP について様々な視点で話し合いが出来たのは良かった。
49	昨日の研修のワークシートは記録としてだけでなく、集計結果として「専門職（多職種）が考える ACP のタイミング」というエビデンスになると思いました。
50	グループワークの内容も、登壇者発表の内容もとても良く、ファシリしながらでありましたが勉強になりました。いつもありがとうございます。
51	救急隊の方のお話が、印象的でした。法律により、救急措置を行わないといけない、隊員と延命を望まないご家族との間にトラブルが生じやすい状況になってしまう。混乱して、救急養成をしてしまうご家族への対応、法律の改善や、取り決め等、トラブルを回避すべく対応を決めていかないと、今後も同様なトラブルは発生すると思われます。ご本人、ご家族、救急隊員、施設職員や携わる方々の身を守る為にも取り決めというガイドラインというものが不可欠かと思えます。

52	救急医や救急隊員のお話がケースに合わせて聞けたのが大変よかったです 今回のような理解、知識が一般まで普及するといいなと本当に思いました
53	演習で、緊張と冷静さを欠いて本人にフォーカスし、その場面で本人の気持ちを知ることであり、家族に焦点を当ててしまい、本質を見失っていたことに改めて気付かされた。まだまだです。今回、救急救命士のお話が一番良かった!為になりました。
54	病院、施設、在宅などでは、現実にある内容だったので、色々事例発表や、zoomでのディスカッションで学ぶ事ができたので今後、参考にしたいと思います。
55	登壇の先生方、事務局の皆様、素晴らしい研修ありがとうございました。また、研修開催までの準備や研修中のトラブル対応など本当にお疲れ様でした。ファシリテーターでしたが、持病や疾患により今後起こりうるリスクについての医療従事者の方々のような視点が、まだまだ私には足りない部分だと痛感しました。これからは疾患によるリスクを予測し予防する視点を養いたいと思いました。ありがとうございました。
56	医師や救急の対応、入所施設の対応を聞いて参考になりました。
57	登壇した講師の皆様のそれぞれの違った立場から、統一した方向性を導ける良い研修でした
58	満足のいく内容で業務に活かし、職員で共有できるよう報告し、職場内研修会でも活用できるようにしたい。
59	満足のいく内容で医療、介護、救急の連携の必要性を改めて感じた。
60	グループワークを通して、ACP やエンディングノートを元気なうちに広く周知すること、段階ごとに関係者が意識を持つことが大事だと感じた。司会の方が実際の現場ではどうですか?と話を進めてくれたので、それぞれの状況が分かり良かった。救急医や消防の具体的な内容が聞いて良かった。
61	グループワークでファシリテーターがいるとすごくスムーズに話し合いができました
62	参集での研修はやっぱり良いですね

### 【開催して欲しいテーマや、その他ご要望】

1	身寄りのない方への支援について
2	BCPについて
3	救急隊や救急車の使用にフォーカスした勉強会があってもよさそう。地域向け
4	認知症の方の支援。
5	リエイブルメント事業とは
6	災害、防災等も必要（在宅、施設、病院）
7	グループホームのレクレーション、認知症の方に向けての生きがいつくりの事例
8	みよりがない方の入院支援について
9	くり返しやりたい内容でした。ありがとうございました。
10	今回の様な多業種の方との研修会は多角的な意見が聞いて良いと思いました。
11	認知症介護ケア、認知症の緊急、職員ストレス緩和（グループワークを大盛り込みで!）
12	病院受診代行

13	感染症についての勉強会、入退院時の医療介護連携についての研修会
14	昨日の田木先生のプレゼンをしっかり時間を取って聞いてみたい、踏まえて多職種でグループワークなど意見交換したいです
15	介護サービス事業所と、ケアマネ、医療との連携。利用者様の体調管理の為により良い連携。
16	大規模災害 どうする？研修会参加したいろいろな立場で、ディスカッションや連携できたらいいなと思います
17	終末期について学びたいと思います。そのテーマにはぜひ参加したいと考え、情報をお待ちしております。研修会を主催して下さい皆様お疲れ様でした。
18	職員の意識向上
19	次回も臨床で活躍する方の研修会に参加したいです。
20	自立支援について
21	今回のような他職種・多職種の相互理解が深まる研修を反復しても良いかと感じました(この研修前にもやった問題さえどうにかなれば・・・)
22	今回のように医療者(医師、看護師など)、介護(ケアマネ含む)、救急隊、行政(県、市町村、広域)の方からの発表を希望します。
23	事例のような流れを通して、現場を担っている方々から課題と改善案が共有と良いと思った。
24	・多職種連携・在宅看取り
25	地域包括支援について
26	多職種連携についての研修
27	人生会議
28	地域包括ケアシステムを各職種や関係機関でどう考えるか
29	困難事例の発表などテーマにしていただけると幸いです。
30	ACP 普及啓発
31	今回のテーマをもう一度
32	身寄りのない人の支援。緊急時の連絡先



## ●結果、考察

人生の最終段階における医療やケアに関する本人の意思が尊重されるよう、段階に応じた ACP の確認、各関係機関との連携の重要性、“介護施設等における在宅・救急連携の基本的な心得”の周知を図る事を目的に本研修を開催した。

今回、会場（NBC 結婚式場）とオンライン（Zoom ミーティング）のハイブリッド形式で開催し、会場 83 名、Zoom69 名、計 152 名の参加があった。会場、Zoom とともに各テーブルにファシリテーターを配置した事で短い時間の中でのグループワークをスムーズに進める事ができ、アンケート結果から、「大変満足」「満足」と回答した方が約 96%、今後の業務に活かせると回答した方が約 99%おり、会場、Zoom とともに満足度の高い研修内容であった事が伺える。また、「様々な視点から ACP や急変時の対応について話が聞けて参考になった」「満足のいく内容で医療、介護、救急の連携の必要性を改めて感じた」「救急医、救急隊の視点、考え方を理解してその上での連携を意識できた」等、多くのご感想をいただく事ができ、本研修の目的は達成できたと考える。

当センター及び当事業について知っているかという質問には、82%の方が内容まで知っているまたは聞いた事があるとの回答があり、少しずつ認知度が浸透してきているのではないかと。本研修に参加し初めて知ったと回答した 18%の方の内訳を見ると、訪問や入所の介護事業所職員が多かったため、次回以降、研修案内や事業周知の際には重点的なアプローチを検討したい。

当センターとして、登壇者の皆様の発表やグループワーク発表、参加者からの研修会の感想や会場の盛り上がりから、高齢者支援における急変時対応の多職種連携の重要性を改めて実感する事ができた。今後も多職種研修会を含めた当事業の様々な活動を通して連携支援に励みたい。

### ＼研修関係者の皆さん／



### ＼会場の様子／



### ＼グループワークの様子／

